

SPLIT関数

指定された値を区切り文字で分割し、指定された位置の値を返す

◇機能

対象のフィールドや値を、その値に含まれる「区切り文字」で分割し（分割した区切りを「セグメント」と言います）、指定した位置のセグメントの値を文字で返します。

（例）03-1111-2222を「-」で分割した場合

1つ目のセグメントの値：03

2つ目のセグメントの値：1111

3つ目のセグメントの値：2222

◇構文

SPLIT(文字列,区切り文字,セグメント番号,修飾子)

引数	入力内容
1	文字列 分割したい文字型フィールドまたは文字のリテラル値、式を指定します。
2	区切り文字 値を分割するための区切り文字を指定します。区切り文字の前後に半角の二重引用符を付けて記述します。区切り文字が半角の二重引用符の場合は、一重引用符を付けます。 （例）03-1111-2222を「-」で分割する。 区切り文字："-"
3	セグメント番号 値を取り出したいセグメントを番号で指定します。セグメントは左から順に1から番号が割り当てられます。 （例）03-1111-2222を「-」で分割した場合 セグメント1：03、セグメント2：1111、セグメント3：2222
4	修飾子 「文字列」（引数1）に値を識別するための修飾子を使用されている場合、修飾子を指定すると、修飾子を除いて値を取り出すことができます。修飾子を使用されていない場合は、空欄とします。 （例）以下の場合、「"」が修飾子です。 "1,000","2,000","3,000" 「1,000」の中のカンマ（,）は、修飾子「"」により、値を区切るためのカンマではなく、値の一部とみなされます。 式：SPLIT("1,000","2,000","3,000","",2,"") 戻り値：2,000 ※「修飾子」は記号の前後に二重引用符を付けて記述します。修飾子が二重引用符の場合は、一重引用符を付けます。

◇戻り値のデータ型

文字型

◇処理の例

例	式	戻り値	説明
「電話番号」フィールドの値が「03-1111-2222」の場合	SPLIT([電話番号],"-",1)	03	
	SPLIT([電話番号],"-",2)	1111	
	SPLIT([電話番号],"-",3)	2222	
	SPLIT([電話番号],"-",4)		4つ目のセグメントが存在しないため、空欄が返されます。
	SPLIT([電話番号],"/",1)	03-1111-2222	値に区切り文字がないため、値が分割されず、1つ目のセグメントにすべての値が入ります。
	SPLIT([電話番号],"/",2)		2つ目のセグメントが存在しないため、空欄が返されます。